

感染症の予防のための情報提供について

病名	腸管出血性大腸菌感染症（O26）																												
年齢及び性別	5才・女兒	職業	保育園児																										
住所	鈴鹿市																												
発病年月日	平成31年 4月 9日																												
診断年月日	平成31年 4月15日																												
<p>（患者発生の経過）</p> <p>4月 9日 軟便、腹痛の症状がみられた。</p> <p>4月10日 腹痛が持続したため、鈴鹿市内の診療所を受診した。</p> <p>4月15日 10日の便検査から、腸管出血性大腸菌感染症と診断された。</p> <p>4月16日 患者に症状はありません。</p>																													
<p>【防疫措置】 接触者の健康状況調査及び検便の実施（鈴鹿保健所）</p>																													
<p>【県内での腸管出血性大腸菌感染症の発生状況】（四日市市保健所分を含む）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成27年</th> <th>平成28年</th> <th>平成29年</th> <th>平成30年</th> <th>平成31年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>患者</td> <td>27</td> <td>29</td> <td>29</td> <td>32</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>保菌者</td> <td>10</td> <td>15</td> <td>13</td> <td>19</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計(感染者)</td> <td>37</td> <td>44</td> <td>42</td> <td>51</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table> <p>※平成31年1月1日～平成31年4月16日現在まで本件含む 平成31年内 患者：O157（2人）O26（1人）O111（1人）</p>							平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	患者	27	29	29	32	4	保菌者	10	15	13	19	0	計(感染者)	37	44	42	51	4
	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年																								
患者	27	29	29	32	4																								
保菌者	10	15	13	19	0																								
計(感染者)	37	44	42	51	4																								
<p>【自分でできる対策】</p> <p>1 予防の3原則</p> <p>① 加熱（菌を殺す） この菌は熱に弱く、75℃、1分の加熱で死滅します。 肉の生食は避けて下さい。特に子どもや高齢者は注意して下さい。 ひき肉は、十分に加熱をしましょう。 焼き肉を食べる時は、生肉を取る箸と食べる箸を使い分け、よく焼きましょう。 井戸水は、煮沸してから飲んで下さい。</p> <p>② 迅速・冷却（菌を増やさない） 調理した食品はすぐに食べましょう。 冷蔵や冷凍の必要な食品は、持ち帰ったらすぐに冷蔵庫（10℃以下）や冷凍庫（-15℃以下）に入れましょう。</p> <p>③ 清潔（菌をつけない） 手指や調理器具は十分に洗いましょう。</p> <p>2 暴飲暴食を避け、睡眠を十分にとるなど体力・体調を保って下さい。</p> <p>3 腹痛・下痢等の症状がでた場合、すぐに医師の診察を受けて下さい。</p>																													